

# 田上町

第79号

■平成21年1月23日 発行

# 議会だより



▲第8分団 元旦の出初め式(土生田神社)

---

新年のあいさつ .....	2P
全員協議会・幼稚園建設調査特別委員会 .....	3P
12月定例会・意見案・請願・陳情 .....	4～5P
一般質問 .....	6～12P
常任委員会付託案件審査報告 .....	13P
常任委員会視察研修報告 .....	14P
常任委員会所管事務調査・一部事務組合報告 .....	15P
議員活動あれこれ・編集後記 .....	16P

---

# 迎春



▲初日の出(後藤 諏訪神社脇から)



## 新年のあいさつ

議長 小池 真二郎

あけましておめでとうございます。

皆様には健やかに平成21年の新春を迎え謹んでお慶び申し上げます。

現在、我が国は、アメリカに端を発する世界的な金融危機の影響を受け、経済の停滞を余儀なくされており、先行き不透明感が強く地域経済は深刻度を増しています。

こうした中で、地方が将来に向けて明るい展望が持てるために、国と地方の役割分担を明確にし、地方のことは地方にまかせる分権型社会の実現の年にしていかなければなりません。

特に町は、人口は少ないながら国土を管理し都市の住民にとって欠かせないきれいな水、きれいな空気、貴重な食糧を提供し大事な憩い、あるいは安らぎの場所になっている。この大切な財産を、行政と住民相互で価値観と課題を共有することで身の丈にあった効率的な財政運営が可能になりこの難局をのりこえることができると確信します。

今後とも議会活動に御指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

## 新年あけましておめでとうございます

小野澤 健吉  
吉田 昭一  
児玉 輝男  
坪谷 久雄  
塚野 一二三  
小池 真一郎  
熊倉 良平  
齋藤 勲  
泉田 壽一  
関根 一義  
池井 豊  
渡邊 正策  
川口 與志郎  
中野 和美  
(議席順)

### 議員全員協議会

平成20年11月25日

#### ◆財政フレームについて

- ・財政健全化計画どおり
- ・未利用地売却延期

#### 【内容】

平成19年度決算で、財政フレームはほぼ予想通りの成果を得られ、財政調整基金(5億8千1百万円)も減額することなく達成できた。

平成20年度の財政フレームには、地方交付税の大幅削減及び大きな災害発生がない事を条件に、平成21年度より予定していた固定資産税率引上げ、平成22年度に予定した旧小学校跡地などの未利用地売却も当面行わない事と、新規事業には中学校耐震化・羽生田小学校耐震化及び幼稚園建設をおり込み作成する事ができた。

### ◆地域活性化・緊急安心 実現総合対策交付金につ いて

#### 【内容】

緊急安心実現事業計画を支援する国からの交付金667万円で、町として幼稚園線道路改良工事事業等に充当する。



▲産業まつり開幕

### 幼稚園建設 調査特別委員会

平成20年11月25日

#### ◆幼稚園一部設計変更につ いて

三条市下田千代ヶ岡保育園、燕市西燕保育園の視察後の委員の意見、幼稚園教諭、保育士の要望により一部設計変更する主なもの。

- ① 遊戯室の壁収納ステージを高さ30cmの固定式に。
- ② 採光、通風のトップライトは将来の太陽光発電設備や雨漏りの発生原因となるため減らす。
- ③ フェンスと窓の高さ、フェンスは景観を考慮し90cm、窓は児童の身長から70cmとする。
- ④ 収納は幼稚園教諭や保育士の要望から出来るだけ多く作る。
- ⑤ 医務室は広くし、ベッドは機能的な収納タイプとする。
- ⑥ 児童用玄関の下駄箱は個別に区切ってもらう。

#### ◆幼稚園建設今後の予定 について

平成21年1月末実施設計、建築確認申請。5月工事入札、6月工事着手、平成22年3月工事竣工予定。

#### ◆入札の基本方針について

入札は本体工事、電気、機械設備、外溝工事の4分割とし、制限的に入札を基本とする。

#### ◎協議の中で主なる質疑

Q 屋根材のガルバニウム鋼板を耐久性と資材の価格変動もあり、カラーステンレスにできないのか。  
A コスト面で約1千万の差があり、ガルバニウム鋼板で葺きたい。

Q 遊戯室と調理室のつなぎ部分の雨漏り対策を講じること。  
A 設計業者と充分協議する。

Q 太陽光発電を最初から設置してはどうか。  
A 費用対効果を考えると現段階では設置できない。

委員長 児玉輝男

月定例会 12月15日～19日

「YOU・遊ランド」「椿寿荘」指定管理者の選定案可決  
田上町環境美化推進条例の制定



▲12月定例会初日

12月定例会の経過

本定例会は、平成20年12月15日から19日の5日間開かれた。初日、諸般の報告、人事案件上程、議案の上程に続いて2名の一般質問が行われた。第2日目も5名の一般質問が引き続き行われた。第3日目は総務産経常任委員会、第4日目は社会文教常任委員会が開催され、付託案件の審査が行われた。最終日は各常任委員長の報告がなされ、議案の採決が行われた。

初日 本会議

会期決定の後、各常任委員会報告、二部事務組合議会報告があった。(15ページ掲載)

○人事案件 同意  
田上町教育委員会委員  
丸山 敬氏

最終日 本会議

最終日の19日には議案の採決を行い、意見案1件、請願2件、その他の議案はすべて可決された。

《提出された議案》

議第2号 専決処分(平成20年度田上町一般会計補正予算(第5号)の報告について)  
議第3号 専決処分(同年度田上町下水道事業特別会計補正予算(第3号)の報告について)

議第4号 田上町環境美化推進条例の制定について  
議第5号 田上町税条例の一部改正について  
議第6号 田上町国民健康保険条例の一部改正について  
議第7号 田上町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について  
議第8号 田上町職員の給与に関する条例の一部改正について  
議第9号 田上町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について  
議第10号 田上町道路線の認定について  
議第11号 田上町総合公園YOU・遊ランドの指定管理者の指定について  
議第12号 田上町文化財椿寿荘の指定管理者の指定について  
議第13号 平成20年度田上町一般会計補正予算(第6号)議定について  
議第14号 同年度田上町国民



▲本会議場での起立採決

健康保険特別会計補正予算(第2号)議定について  
議第15号 同年度田上町訪問看護事業特別会計補正予算(第3号)議定について  
議第16号 同年度田上町介護保険特別会計補正予算(第2号)議定について

議員発議による意見案

意見案番号	件名	提出議員	議決結果	意見書提出先
意見案第12号	道路整備財源の確保等に関する意見書	塚野一三 小野澤健二 吉田昭一 児玉輝男 川口與志郎	原案可決	議長大臣 議長大臣 参院大臣 内閣総務大臣 国土交通大臣 総務大臣 経済財政政策担当大臣

請願

請願番号	件名	請願者の住所・氏名	審査結果
請願第12号	30人以下学級の実現、義務教育費国庫負担制度の堅持をはじめとする教育予算の充実を求める請願	三条市興野3-1-9 新潟県教職員組合 三南支部 執行委員長 深沢 正英 田上班班長 米山 國男	採 択
請願第13号	WTO農業交渉に関する請願	三条市興野3-10-7 にいがた南蒲農業協同組合 代表理事組合長 吉田 文彦	採 択

陳情

決議案番号	件名	陳情者
陳情第5号	動物移動(訪問)火葬車不使用の陳情書	愛知県名古屋市南区呼続4-13-18 日本動物霊園連合 代表 久喜 清外



川口與志郎 議員

### 「ゲリラ豪雨」に対する備えは不十分

**問** 今でも強い雨が降りますと西側の道路や宅地には、冠水したり、浸水したりするところがあります。まして、「ゲリラ豪雨」に襲われますと、大変な被害が予想されます。田畑も冠水するかもしれません。それで備えが必要になります。

一、必要な箇所を特定して水位計や物資を保管する水防倉庫・土嚢倉庫を設置してほしいこと。

二、「避難勧告が出たことをしらなかつた」ということが無いように伝達手段として防災無線を設置してほしいこと。

三、リスクの高い土地の開発を制限してほしいこと。また、山の土砂採取を止めさせてほしいことです。

**町長** 田上の水位は信濃川の水位と関わっています。保明地内に指定水位観測所があります。消防団の待機水位、氾濫注意水位、避難判断水位、氾濫危険水位と4段階がきめられております。この水位になりますと、三条地域振興局から通報が入ることになっており、町はすぐに対応する体制になっております。それで今のところ、どうしても水位計が必要とは考えておりません。

水防倉庫、土嚢倉庫については、ある程度の応急体制の体制は整えております。しかし、改めて設置の必要性は感じておりません。

羽生田地内の土砂の採取についてですが、市町村が意見を上げ、国や県が可否の判断をすることになっていきます。

平成21年3月まで土砂採取が行われませんが、土砂流出の防止対策、植林計画協定を締結しております。

助されないことになっております。私は、給付金を拒否する理由がないので申請をします。

景気の動向は良くないが、町内企業の年末にかけての資金繰りは苦しくないか、その対策はあるか。

### 町内の企業の現状はどうか

**町長** 商工会や金融機関では他ほど深刻な状況ではないと見えています。厳しい経済情勢の中で、従来からの中小企業不況対策緊急特別資金の融資を行っておりま

す。借入状況をみると、年々減少しております。

土嚢のことについて補足します。土嚢の全町への設置は困難な面があり、土嚢の代わりになる袋を町が斡旋します。千五百円位しますが、乾燥させると小さく折り畳められる袋で、水に浸すと膨らんで重くなり、使用後、乾燥させると折り畳めるようになるというものです。何回でも使えます。代金は各自の負担になります。よろしくお願いします。

**副町長** 土嚢のことについて補

足します。土嚢の全町への設置は困難な面があり、土嚢の代わりになる袋を町が斡旋します。

千五百円位しますが、乾燥させると小さく折り畳められる袋で、水に浸すと膨らんで重くなり、使用後、乾燥させると折り畳めるようになるというものです。何回でも使えます。代金は各自の負担になります。よろしくお願いします。



▲高低のある田上の地形

### 安心してはげめる農政を

**問** 全国的な問題ですが、田上の農家の方の平均年齢は60歳を超えています。あと十年経ちますと70歳を超えることになり。これは農業の危機そのものです。町長の見解を伺います。

また肥料の高騰がこの秋以降に続いています。こうした中でこしひかりの一等米は1万3千円。生産費は60キロで1万4千412円と赤字になっていきます。自分の労賃を削るしかない状況です。農家への支援策を伺います。

**町長** ご指摘の通り農業を取り巻く情勢は層層厳しくなっております。残念ながら当町の財政規模では対応できるものではありません。しかし出来る限りのことはしていますし、していきたいと考えています。

減への意識の高揚、機運の盛り上がりなどの啓発が出来ればと考えています。

本人や保護者の希望があればカウンスリングを受けられる体制の整備など学校と話し合い円滑な受け入れを整備しています。原因は複合型となっています。原因追及に力を増やすよりも家族、本人の気持ちをしつかり聞き取り、環境を整え、登校出来るようにしたい。

**問** いじめ、不登校児をなくしたいので、教師は授業を持って多忙であるが、学校と教育委員会の中間に、教育研究問題相談所なるものを置き、かけ込み相談や即刻対応の出来る機関を設置したらどうか提案をする。

**教育委員長** 小・中学校児童、生徒の指導サポートチームを設置した。要綱も策定し、構成員も委嘱状を渡した。充分機能を発揮させていきたい。

### 中学校におけるいじめ、不登校の現状はどうなっているか

**問** 不登校児童対策の現状をどう対応されているか、原因の究明はされているか。

**教育委員長** 11月現在、不登校生が1年生3名、2年生が2名、3年生が5名、いじめは3年生が5件、校内暴力が3年生で1件。

いじめは人間として絶対に許さないと認識を人ひとりの児童、生徒に徹底させなければと考えています。

いじめゼロスクールを通して撲

# 一般質問

### 給付金について

**問** 政策だとして2兆円を全国民に生活支援給付金として、現金給付することは、税金を使った選挙違反ではないか。給付金の受取りを拒否した人の分の取扱いはどうなるのか、給付されたら町長は受取るのか。(受取りを拒否した者の分を町で寄付行為として扱うのであれば議員は寄付行為が禁止されているので私は受取る。)

**町長** 施策の目的は景気後退

下での住民の生活支援と地域の経済対策と考えている。給付方法は対象者である世帯主からの申請に応じて市町村が支出を決定する。補助金は交付に要した実績額が補助対象となるので、受取りを拒否した人の分は補

小野澤健吉 議員





関根一義 議員



渡邊正策 議員

# 一般質問

**町長** 今後の財政健全化計画の評価・総括とも関連するが、保留してきた下水道事業、保育所及び竹の幼稚園の後利用など今後の方針により財政プレームの作成方法も変わる。

現時点で、施策を見直すべきか否かの判断は難しい。

**問** 財政の危機的状況は克服できた。その大きな要因に町民負担を強いたことがある。負担を恒久的なものにしてはならない。施策の見直しが必要である。

**危機的財政を克服！「健全化施策」の見直しを**



**加速化する田上町の人口減少**

上に示すグラフは、平成16年3月時における田上町人口動態と、約4年半を経た平成20年9月時、そして5年後の人口動態を予測対比したものです。

**問** 田上町の人口動態と近隣自治体の状況を示し、町長が立上げた「田上町少子化対策検討委員会」の活動状況がまだ見えていない。迅速な行動が必要であると思います。

**町長** 次代を担う子供を健康に育成するとともに、子育てをする環境づくりを町全体で支援し結果として人口増加に繋げるべく総合的な対策を検討する為、検討委員会を設置しました。

具体的には若者の定住化、働き場、雇用の場を確保する為、企業誘致する事が最優先させなければいけない問題だと思っております。

町の活性化事業への

**問** 町づくりプロジェクトの事業化や農産物ブランド化支援など積極的な予算シフトが必要である。

**町長** 護摩堂山にヒメサユリ植栽、オオムラサキ復活事業及び曾根人參の復活・特産化支援など町づくりに結び付けていきたい。

**転作率は、限界を超えた**

**問** 農政事務所が発表した農業所得は、昨年比13.1%減となっている。これは米価の下落とともに、減反が響いているもの。また、減反を越え、転作を求めらるるならば、食料政策として直接支払いによる個別所得補償を実施する以外にない。

左の表は、財政健全化検討当時の平成16年の人口動態と4年半経過した現在とを比較したものです。

**田上町の60歳以下の人口が1万人を割り、特に5歳以下の子供の数が26.9%も減りました**

田上町の人口増減状況 (田上町年齢別人口集計表より)

	総人口	0～5歳	0～60歳
平成16年3月	13,768	696	10,087
平成20年9月	13,255	509	9,232
5年後を予測			8,600
対H16年増減数	△513	△187	△855
増減率%	△3.8	△26.9	△8.5

  

他自治体の人口増減状況

	総人口	0～5歳	0～60歳
A市対H16増減	△406	△114	△517
増減率%	△3.8	△22.1	△6.9
B市対H16増減	△1,428	△256	△1,912
増減率%	△4.3	△17.3	△8.3

**町長** 町の転作率が35.4%と過去最高となった。

県の平成21年度の生産目標数量が0.3%減となっている。転作未達成の当町はさらに厳しい配分が予測されるが、米価の安定には生産調整は不可欠である。

**教育行政の改革が必要**

**問** 教育行政に関する要望・意見は、どのような内容のものか。

**町長** 小・中学校のPTA会長から「教育委員会の刷新と町教育の充実、発展にかかわる陳情」と「障害児を持つ保護者からの「障害児相談員に関する要望」である。

**問** 学校現場の「いじめ」「暴力」と、その「隠蔽」を憂い、教育委員会の強いリーダーシップと改革を求めているものだ。

**問** 自然環境に恵まれた田上町を「移住、定住化選択の柱」となるように国が支援する1兆円「地方活力基盤創造交付金」の事業に参画し田上駅西口改札口の施設、バリアフリー化など地域産業活性化のため思いついた駅周辺整備に商工会が必要で、町長の見解を伺います。

**町長** 実は先般2日、久留米市長と徳島の町長と私とで総務省総務大臣の所に、新交付金を1兆7千億円位まで増額しないと地方はどうにもならない、と強く要望をいたしました。

今日の新聞で1兆3千億円位を用意したいと言うことでした。今度は確実に道路整備に8割を使うと言う事ですので、ご指摘のあったような形で要望しながらしっかりと予算獲得していく事と、これからの懸案事項に努力したいと思っております。

**町長** 隠蔽はないと申し上げた。しかし答弁が隠蔽ととられたとしたら大変申し訳ない。

陳情には、教育委員会に対するリーダーシップが強く指摘されていたので教育委員会に陳情書を渡し、改善・改革をお願いした。

障害児相談員の制度は今後の課題と考えている。

**教育委員長** 指摘されたことを充分協議し改善を図りたい。

**問** また小・中学校で実践されてきた総合学習は、大きな実績を上げている。今後も町の支援体制が必要である。

**教育委員長** 総合学習は、郷土精神、自然保護意識の高揚に結びつくもので、極めて重要な学習である。

町は、県単補助事業の廃止後も継続支援しているが、今後も引き続き支援していきたい。



池井 豊 議員

町長 県では担当者レベルで検討会を重ねているところであり、新型インフルエンザ対策県央地域医療検討会議を立ち上げます。

第二に田上町の行政機能は維持できるでしょうか。第二に学校・園への対応はどうするのか。どの段階で学校閉鎖等の処置を考えるのかを伺います。

町長 新型インフルエンザに対する町の対応計画等をお聞かせください。

**新型のインフルエンザの対応は県と協働してこれから!**

行政機能についてはシミュレーションして、重要業務を最優先させて、出勤を交代制にする。また業務を選択制など住民生活に直結する最小限の業務を行うなどの方法が考えられています。



▲住民参加の美化活動

町長 違反者の指導が市町村では難しいということが最大の原因で、見送ってきた経過がございます。

町長 現在関係者と検討しています。まとも次第、指針、保育料金を特別委員会に提出し、説明します。

町長 有効活用は幅広く沢山の意見を聞いて良い方向性を出したいと考えています。

**田上町環境美化条例(案)について**

**自然環境をいかした町づくりを**

町長 これからの町独自で基本的な構想を考えていきたいと思っております。基本的なまちづくりとしては、護摩堂山、湯田上温泉を中心とした地域、その一帯、そしてまた総合公園とか野球場、それから森林公園を中心とした地域での健康づくりのまちづくりということを実は策定いたしました。推進してきたところであります。



齋藤 勲 議員

**社協に町からも役員の参加を**

町長 社協は先の特設委員会「竹の友」という仮称を取りたいと発言しましたが、住民参加という観点から名称は公募が望ましいのではありませんか。

町長 特別委員会がそのような方向を出せば公募します。

町長 社協は独立した福祉法人であり介入はできません。しかし社協から役員派遣の要請があれば応じます。



▲経営不振のビルを買収して改造された茅野市の広々とした子育て支援センター

町長 今後町の施設で設置可能か否か検討します。

町長 幼児園ができると竹の友幼稚園が空きます。有効活用として、児童図書室、幼児や児童の居場所、町のボランティアや大人の活動の場所となるように有効活用が図れませんか。

町長 田母神前航空幕僚長の発言は、過去の侵略戦争と平和憲法を否定するものです。燕市や三条市では広島から被爆者を招いての講演会や子供たちを広島に派遣しています。町長は平和を守るために何らかのアクションを考えていますか。

**平和を守る発信は首長の務め**

町長 田上町がエコタウンを目指し、その象徴として、また環境教育の一環として、太陽光発電を設置できませんか。

町長 県央のことは知りませんが、各人が平和に関心を持つことは大切です。私も機会があれば発言します。



中野和美 議員

# 一般質問

子育て支援に  
国土交通省の  
まちづくり  
交付金の利用を

**問** 幼稚園の建設計画が進む中、ソフト面の整備も共に必要と考えます。交付金の利用の一例として、山梨では「現実問題を抱えている子育て世代のニーズを知る為、情報発信・収集の場として、時間・場所を問わずに誰もが子育て支援に参加・提案できる仕組み(子育てコミュニティホームページサイト)をつくる。サイトを情報源に現場をつなぎ、先輩ママ募集と共に現代の問題・子育て事情広報活動を行う」という取組みが有ります。今現在の町のインターネット環境があればサイト立ちは十分出来るのではないかと思います。

もう一つ、3～5年後には太陽光発電システムの価格を現在の半額程度にするという国の目標が有り、幼稚園の設計段階で受け入れやすいものにしておけば、後づけでも設置可能に繋がると考えます。

**町長** 財政の健全化を進めている中でありますので、少しでも補助対象になるのであればと考えておりますが、さらに研究してまいりたいと思っております。同じように太陽光発電の導入につきましては、今回の幼稚園では設置しないことで進められているところであり、なお、今後機会があれば学校や自治体の施設に設置することも改めて検討していく必要があるのかと思っております。



▲You・遊ランドの冬景色

メール配信の  
有効活用を

**問** メール配信の利用のついでアンケート機能の活用も考えられます。今まで紙に印刷し、組長さんに回収取りまとめをお願いして頂いていた作業も、一瞬にして、簡単にデータ集計が可能です。

今後、その様な利用法、また、どの様に展開していかれる予定であるか、お聞かせください。

**町長** まだ開始したばかりでありますので、今後これら進めるに当たりまして利用者の要望とか意見を参考にしながら、配信する情報の充実とか精査も検討していきたいと思っております。

湯っ多里館を  
もっと住民  
参加型で

**問** 湯っ多里館に関し、町民はいろいろなアイデアを持っています。今、一番求められているのは、もっともっと住民参加型の町づくりなのではないでしょうか。

**町長** 毎月1回運営委員会を開催して、そこでアンケート用紙やメールによる利用者からの頂いたご意見はその場で検討し、いわゆる館長あるいはスタッフに出来るものには対応していくという事で進めております。今後、もこれまでのやり方を継続してまいりますので、ご意見とか、よいアイデアをお持ちの方は是非寄せて頂きたいと思っております。

## 常任付託案件審査報告委員会

### 総務産経常任委員会

〈12月17日〉

#### 専決処分

- ◆議第2号 平成20年度田上町一般会計補正予算(第5号)の報告について
- ◆議第3号 同年度田上町下水道事業特別会計補正予算(第3号)の報告について

※いずれも承認

#### 条例改正等

- ◆議第7号 田上町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について
- ◆議第8号 田上町職員の給与に関する条例の一部改正について
- ◆議第9号 田上町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について
- ◆議第10号 田上町道路線の認定について

- ◆議第11号 田上町総合公園YOU・遊ランドの指定管理者の指定について
- ◆議第12号 田上町文化財椿寿荘の指定管理者の指定について

※いずれも原案可決

#### 補正予算

- ◆議第13号 平成20年度田上町一般会計補正予算(第6号)議定について中
  - 第1表 歳入
    - 2 款 総務費(1、4、5項)
    - 6 款 農林水産業費
    - 7 款 商工費
    - 8 款 土木費
  - 第2表 地方債の補正

※原案可決

尚、議第11号と議第12号に関しては初めての制度で在る事から全議員で構成する連合審査を実施しました。この案件だけで2時間にも及ぶ大変白熱した議論が展開されました。

## 社会文教

〈12月18日〉

#### 条例制定等

- ◆議第4号 田上町環境美化推進条例の制定について
- この条例は、全町民及び土地所有者等が協働して快適な生活環境を保全し美しいまちづくりに寄与することを目的とする条例である。
- ◆議第5号 田上町税条例の一部改正について

所得税法に掲げる寄付金のうち12月の県議会にて提案、定められることにより当町も改正するもの。

- ◆議第6号 田上町国民健康保険条例の一部改正について
- 出生育児一時金の増額に係る経費の追加。

※いずれも原案可決

- ◆議第13号 平成20年度田上町一般会計補正予算(第6号)議定について中

- 第1表 歳出の内
  - 2 款 総務費(2項)
  - 3 款 民生費
  - 4 款 衛生費
  - 10 款 教育費

- ◆議第14号 平成20年度田上町国民健康保険特別会計補正予算について
- 3千238万円を追加するもので3月までの間で不足が見込まれるため。
- ◆議第15号 同年度田上町訪問看護特別会計補正予算について
- 訪問事業に使用する車の入れ替え。
- ◆議第16号 同年度田上町介護保険特別会計補正予算について
- 額の確定等による整理。

※いずれも原案可決

常任委員会視察研修報告

総務産経

期日 12月4日～5日

視察地及び研修内容

- ・福島県南建設事務所  
甲子道路(国道289号)
- ・福島県あぶくま高原自動車  
道路建設事務所  
あぶくま道路

12月4日

甲子道路国道289号は新潟市を起点として三条市を経由し、福島県の南会津郡を経て、いわき市に至る幹線道路です。甲子道路は、このうち南会津郡下郷村から西白河郡西郷村までの通行不能区間の解消を目的として整備したものです。視察は白河市の甲子道路管理所を訪ねて、業務のあらましの説明を受けて現場視察を行いました。山岳道路の為に長大トンネルと長

大橋が多く、安全確保の為に監視モニターを365日24時間操作し、消防署、警察署との連携がされています。

12月5日

あぶくま高原道路は磐越自動車道小野ICより東北自動車道矢吹IC迄(36キロ)の地域高規格道路で、総事業費は1千300億を見込み平成22年度全線開通に向けて、工事を24時間体制で進めています。完成すると福島空港へのアクセスを初め、平田村、玉川村、石川村、矢吹町の振興と発展を支える基盤となるものです。

二日間の視察で、道路整備は地域の基盤創りだけで無く、救急医療には不可欠で或る事と福島県当局の熱意と、関係する政治家の姿勢を感じてきました。

委員長 泉田 壽一

社会文教

期日 11月10日～11日

視察先及び研修内容

- ・長野県立科町
- ・長野県茅野市

11月10日

当委員会は、立科町の子育て支援の実際を研修しました。子育て世代が働きながら安心して子供を生み育てられる環境作りを進め次代を担う子供たちを健やかに育てられるまちづくりを推進している町でした。

事業施策について

- ☆子育て支援センター事業  
高齢者を始めとする各世代各分野による交流、情報の交換や支援
- ☆延長保育並びに一時保育  
病気等で面倒を見られない場合の一時預り制度の実施
- ☆ファミリーサポート事業  
育児が出来る人、手助けが必

要な人を登録し紹介する事業  
☆児童館運営事業  
学習の機会を設けると共に放課後の児童の成長を促す場づくりをする

☆保健事業

妊婦健診の公費負担の増や、乳幼児の健診体制の充実

11月11日

茅野市は、諏訪盆地の中央に位置する高原都市で年間約40万人の観光客が訪れるまち、緯度が高く標高770m～1千200mで気候的には厳しいところ、市の取組みは只単なる子育て支援だけでなく人の交流から始まりその地域全体の問題として市の真中に拠点を設け全市民的な運動にしていった新しい方策でありました。

委員長 吉田 昭一

常任委員会所管事務調査

社会文教

期日 10月22日

- ・北蒲原郡聖籠町
- ・胎内市

聖籠町を教育委員と一緒に訪問、学校運営協議会の内容、在り方等について研修、調査をした。

期日 12月8日

- ☆中学校、羽生田小学校の耐震診断業務委託の進捗状況
- ☆心起園施設の修繕工事
- ☆夜間窓口の状況について

一部事務組合報告

三条・燕・西蒲・南蒲広域養護老人ホーム施設組合

第2回定例会

期日 平成20年12月5日

場所 三条市役所

- 議第1号 議会議員並びに監査委員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について
- 議第2号 平成20年度会計補正予算について
- 認定第1号 平成19年度一般会計決算認定について  
歳入 2億3千854万5千円  
歳出 2億3千253万2千円  
収支残額 601万3千円

- 報第1号 専決処分報告について(管理者、副管理者及び収入役の報酬に関する条例の一部改正について)
- いずれも原案可決及び認定・承認

組合議員 中野 和美

新潟県中越福祉事務組合

第3回定例会

期日 平成20年10月28日

場所 まごころ学園

- 提出議案3件
- 議会选择第1号 副議長の選挙について  
熊倉 仁 氏に決定
- 議第7号 平成19年度新潟県中越福祉事務組合歳入歳出決算の認定について  
収入 3億6千544万3千円  
支出 3億5千298万6千円

- 議第8号 平成20年度中越福祉事務組合補正予算第1号歳入歳出予算総額に歳入歳出それぞれ324万円を追加し、予算の総額を歳入歳出それぞれ3億4千204万円とする。
- いずれも原案可決及び認定

組合議員 川口 與志郎



▲胎内市ひだまり保育園で説明を受ける委員

# 議員の活動あれこれ

今回は議員の視察研修の活動をご紹介します。10月～12月に常任委員会や一部事務組合などの視察研修が行われます。この研修ではテーマを持って先進の市町村を訪れ、説明を受けたり施設を見学したりし、田上町に活かせる点を探ります。

## 加茂市・田上町 消防衛生組合 視察研修報告



▲説明する岡谷市清掃工場の職員

11月19日長野県岡谷市清掃工場へ視察に行ってきました。

岡谷市はゴミの細かい分別・肥料化・有料化をしています。が、環境市民会議や様々な団体と440回以上の説明会を開いた結果実施しているとのこと。行政と住民の協同という視点で大変参考になりました。

(齋藤 記)

## 三条地域水道用水 供給企業団 視察研修報告

平成20年11月17・18日に山梨県峡東地域広域水道企業団の樋口浄水場を見学しました。給水開始間もない新しい浄水場で、ほとんどの施設が室内にあり衛生的で、最先端の中央制御室もありました。企業長である山梨市長が合併特例債を活用して建設した根津記念館で、受入れの挨拶をしていただき、まちづくりも勉強させていただきました。

(池井 記)



▲説明する企業団職員

## 20年度の 視察研修を終えて



▲立科町役場で説明を受ける

「井の中の蛙大海を知らず」にならないように、各常任委員会は年に2度、視察研修に出かけます。社会文教常任委員会は視察を行いました。その後、学んだ大切な事柄を田上町の行政・議会活動に生かしていこうということ、総括会議を開催しました。それをまとめ、町長に提言書を提出しました。

視察研修は、田上町のさまざまな面で生かされていくものと確信します。

(川口 記)

## 編集後記

百年に二度の大不況と言われ、派遣切り・内定取消しなどの雇用問題を抱えながら平成21年は幕を開けた。今こそ政治の力が試される時だ。国レベル・県レベルでの対応もあるが、田上町でも独自の対応策の必要に迫られるだろう。住民と行政と議会が一体になってこの難局を乗り越えたいものだ。

12月定例会では指定管理者制度などの新しい仕組みについても議論され、メール配信や新型インフルエンザの対応など新たな取り組みも始まった。

新年はすばやい対応と実行力での成果を出して行きたいものだ。

(池井 記)

委員長 池井 豊  
副委員長 渡邊 正策  
委員 吉田 昭一  
委員 泉田 壽一  
委員 川口 興志郎  
委員 中野 和美

## お知らせ

議会を傍聴してみませんか。  
第1回定例会は、3月6日からの予定です。